

珍しい魚

ハモの仲間 ハシナガアナゴ

平成 29 年 2 月 16 日に香川県燧灘東部海域において、観音寺漁協の小型機船底びき網でハシナガアナゴが漁獲されました（写真 1；全長 31cm，体重 36.75g）。香川県で漁獲されることは珍しいです。



写真 1

ハシナガアナゴ *Oxyconger leptognathus* はウナギ目ハモ科ハシナガアナゴ属の魚類で，日本では，熊野灘，土佐湾，長崎県佐世保；木浦（韓国），澎湖諸島，台湾南部，広東省，オーストラリア東岸・西岸に生息しています。生息水深は 244～308m とされています。通常は，南方の水深の深いところに生息し，一般に，食用とはみなされていない様です。本種は知見が少なく，謎の多い魚です。

腹部が張っているなので，解剖してみると，卵を持っていました（生殖腺重量 6.18g）。胃内容物は空でした。通常に漁獲，食用とされているハモの産卵期は夏なので，ハモとハシナガアナゴは，産卵時期が異なる様です。

【参考資料】

中坊徹次 編：日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 2013. 東海大学出版会

ぼうずこんにゃくの市場魚貝類図鑑：<http://www.zukan-bouzu.com/unagi/hamo/hasinagaanago.html>

（文責 藤田辰徳）